

# 冤罪 引野口事件の真相

代用監獄に送り込まれた警察のスパイ

2月9日(土)

無実のゴビンダさんを支える会・学習会

## ●事件の経緯

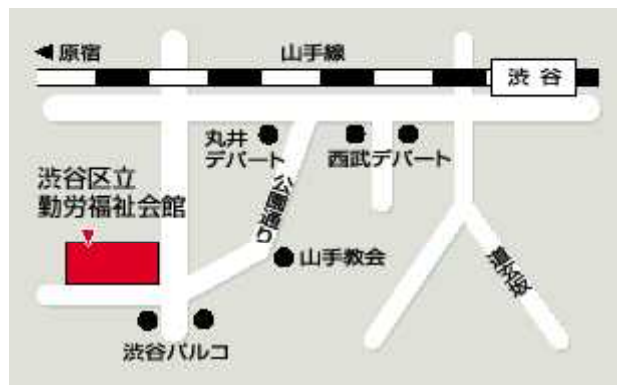
**事件発生:** 2004年3月24日 北九州市八幡西区引野口で火災が発生し、男性が死亡。遺体から刺し傷が見つかり、殺人事件として捜査が開始される。

**別件逮捕:** 2004年5月23日 被害者の実妹、片岸みつ子さんが別件逮捕される。

**放火・殺人で起訴:** 2カ月の長期勾留を経て完全否認のまま10月殺人と放火で起訴。

**結審:** 2007年11月12日。求刑18年。

**判決:** 2008年3月5日。



会場へのアクセス

JR 渋谷駅八チ公から公園通りをのぼり、徒歩7分

問い合わせ: 無実のゴビンダさんを支える会・事務局  
〒160-0004 東京都新宿区四谷2-1-0 ハッ橋ビル7階  
現代人文社気付 TEL: 080-6550-4669

<http://www.jca.apc.org/govinda/>

完全否認 直接証拠は皆無 しかし  
留置場で同房だった累犯被疑者が聞いたという  
「告白」だけで、検察は起訴に踏み切った。

実の兄を殺害し、実家に放火したという容疑で逮捕・起訴された主婦、片岸みつ子さん(五九歳)は、別件逮捕の繰り返しによる長期勾留にもかかわらず「私は絶対にやっていない」と無実の訴えを貫いている。

何らの直接証拠もなく、警察が留置場の同房に送り込んだ二一歳(当時)の女性被疑者が獄中で片岸さんから聞いたと称する「告白」だけを頼りに検察は犯行ストーリーをねつ造した。

三〇回に及ぶ審理(福岡地裁小倉支部)で明らかになった「引野口事件」の真相、破綻した検察ストーリー、スパイを使った冤罪づくりなどについて、雑誌『冤罪File』記者の今井恭平さんから話を伺います。

講師: 今井恭平(ジャーナリスト)

日時: 2月9日(土)

午後1時半開場 2時~4時(予定)

会場: 渋谷区立勤労福祉会館第2洋室

参加費: 500円